



No.14-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成25年度(第4回)

こく えい あすか      へいじょうきゅうせき      れきし      こうえん  
国営飛鳥・平城宮跡歴史公園

【再評価】

平成25年12月  
近畿地方整備局

# 目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減の可能性の視点
5. 対応方針(原案)

# 1. 事業の概要

■国営飛鳥・平城宮跡歴史公園は、我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため、都市公園法に基づき、閣議決定を経て事業化(口号国営公園)。

## 事業の概要

区 域	飛鳥区域	平城宮跡区域
位 置	奈良県高市郡明日香村	奈良県奈良市
計 画 面 積	59.9ha	122.0ha
供 用 面 積	46.1ha	未供用
種 別	都市公園法第2条第1項第2号口の規定に基づく国営公園	
年間利用者数	約80万人(平成24年度)	約177万人(将来推計値)
全体事業費	926億円	
事業化	昭和46年度	平成20年度
都市計画決定	昭和46年7月(祝戸地区、石舞台地区) 昭和49年1月(甘櫓丘地区) 昭和51年10月(高松塚周辺地区) 平成18年12月(キトラ古墳周辺地区)	平成21年3月
用地着手	昭和46年度	昭和38年度(文化庁取得地)
工事着手	昭和47年度	平成21年度
事業進捗率	77%(事業費ベース、H24末)	6.3%(事業費ベース、H24末)
用地取得率	99.0%(面積ベース、H24末)	97.1%(面積ベース、H24末 文化庁取得地を含む)

## 広域図

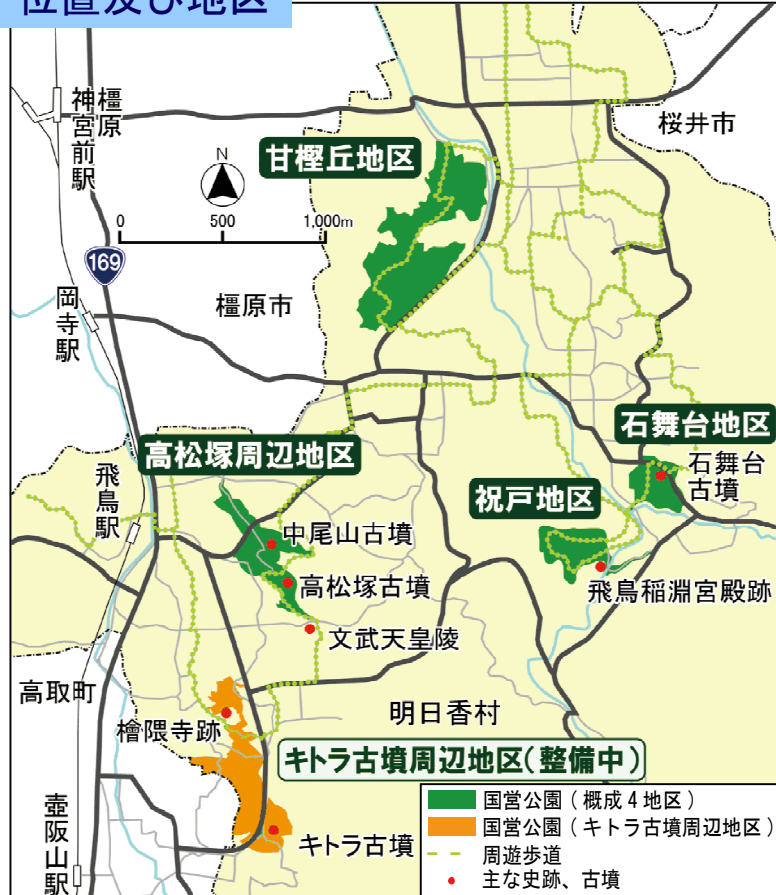


# 1. 事業の概要

## 事業の背景・目的等【飛鳥区域】

- 我が国の「国家形成の始まりの地」である飛鳥地方において歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環として事業化。
- 明日香村は特別立法により保存措置が図られている（全村開発規制）。
- 概成開園した4地区（祝戸、石舞台、甘樫丘、高松塚周辺）と現在整備中のキトラ古墳周辺地区。

### 位置及び地区



### キトラ古墳周辺地区

平成13年度事業化（平成28年度開園目標）

- 特別史跡キトラ古墳・史跡檜隈寺跡などの文化的資産の保存及び活用
- 五感を使って楽しみながら飛鳥の歴史や文化、風土について学ぶ「体験的歴史学習」の展開



体験学習館（本館）イメージ



墳丘整備前の特別史跡キトラ古墳

# 2. 事業の必要性等に関する視点

## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化【飛鳥区域】

### 古墳壁画の保存管理

- 高松塚古墳やキトラ古墳の壁画は、公園内に文化庁が設けた仮設修理施設において修復作業中。
- キトラ古墳壁画については、一定修理が終わった後、キトラ古墳周辺地区内に設ける体験学習館で、文化庁が保存管理する計画。

※以下、写真4点は文化庁提供資料



仮設修理施設内における高松塚古墳壁画の保存・修復状況(右図:発見当初)



墳丘整備前の文化庁による石室公開

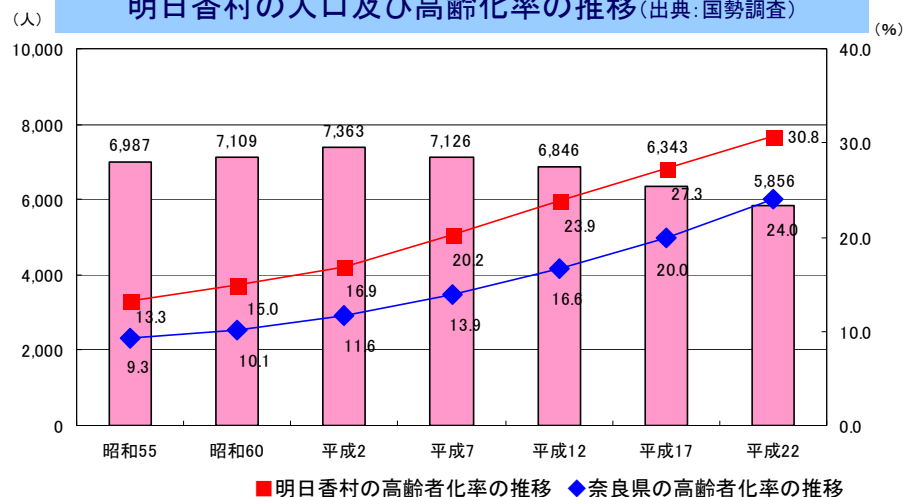


キトラ古墳壁画(朱雀)

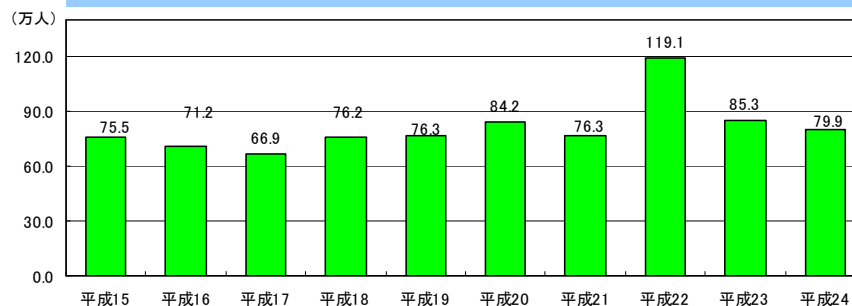
### 明日香村の人口動態及び観光客数

- 近年人口減少・高齢化率の進展が顕著。
- 観光客数の平均は約80万人。

明日香村の人口及び高齢化率の推移(出典:国勢調査)



明日香村の観光客数の推移(出典:明日香村調べ)



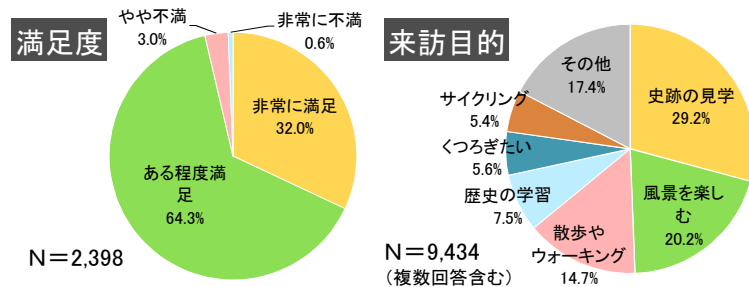
文化的資産の保存と活用に取り組むとともに、様々な観光交流の取り組みにより、人口減少・高齢化が進む村の活力維持に結びつけていくことが明日香村全体の重要な課題。

# 2. 事業の必要性等に関する視点

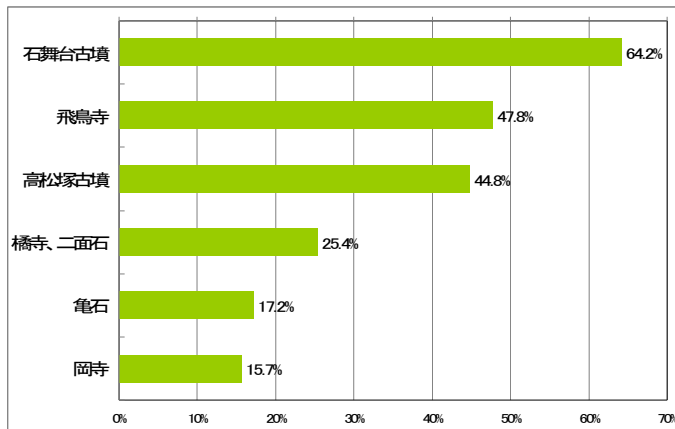
## 2) 事業の整備効果【飛鳥区域】

- 来訪者は、史跡見学や風景を楽しむことを目的に、散策・周遊の一環として本公園を利用。
- 公園での参加体験型イベントや地域行催事がより多くの来訪に貢献。

### 利用者の満足度、来訪目的及び 主な立ち寄り先



### 【利用者の主な立ち寄り先】



出典：H24年度 国営飛鳥歴史公園事務所調べ

### 参加体験型イベントの実施

参加体験型イベント・ボランティア活動実績  
(平成24年度 13回 延べ881人参加)  
歴史周遊ツアー、勾玉体験、バーチャル飛鳥京 等



歴史プログラムの様子



バーチャル飛鳥京イベントの様子

### 地域行催事の開催

地域行催事の開催実績  
(平成24年度 34回 104,219人参加)  
「飛鳥光の回廊」開催会場として利用 等



「飛鳥光の回廊」(高松塚周辺地区)



彼岸花祭り「飛鳥蹴鞠」(石舞台地区)

# 1. 事業の概要

## 事業の背景・目的等【平城宮跡区域】

- **特別史跡であり世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つとなっている「平城宮跡」の保存と活用**を目的として平成20年度に事業化。
- **「『奈良時代を今に感じる』空間を創出する」という基本理念を掲げ、歴史・文化資産としての適切な保存と活用、体感・体験とその拠点づくり、国営公園としての利活用性の高い空間形成となる整備を実施。**

### シンボルゾーン



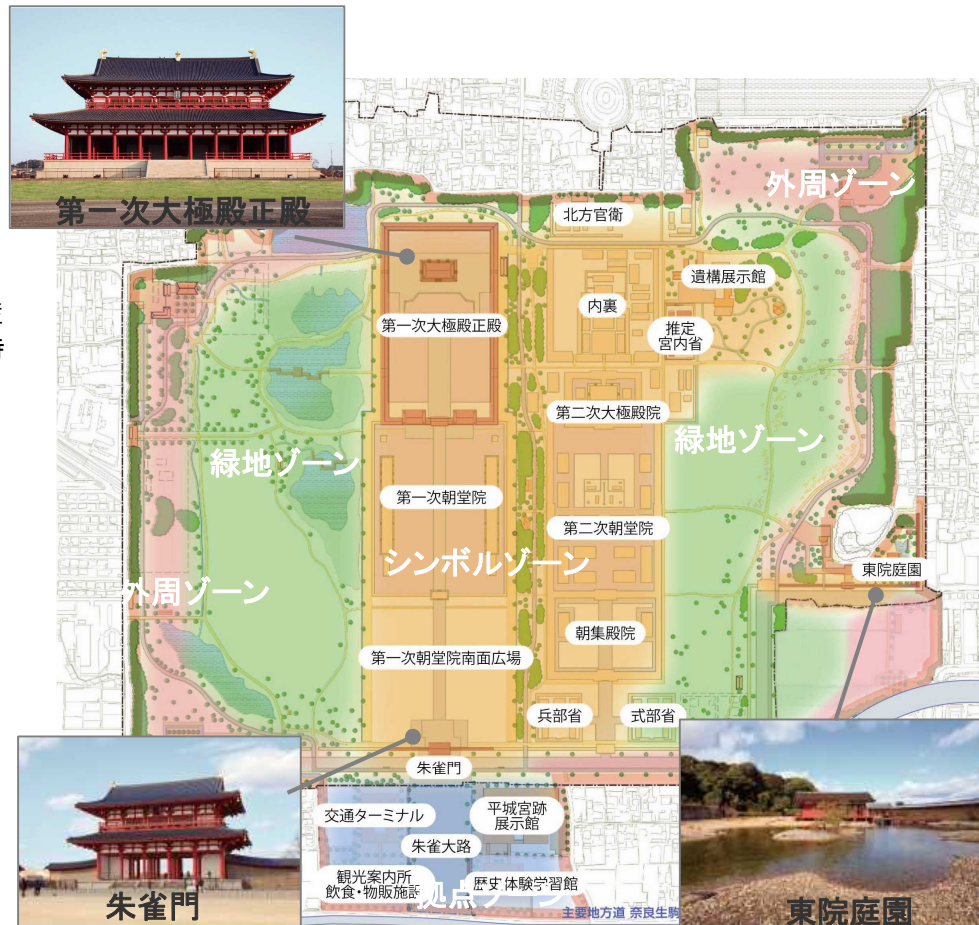
- 第一次大極殿正殿や朱雀門等の復原建物などを中心に、歴史資産を活かした空間づくりを行い、往時の平城宮の様子を体感・体験できるようにします。

### 緑地ゾーン



- 平城宮跡の広がりや周辺地域との歴史的な関わりを感じ、散策や自然観察など多様なレクリエーション利用ができるようになります。

\* 園内を大きく4つにゾーン分けして、整備を実施



### 外周ゾーン



- 隣接する市街地の遮蔽とあわせて、循環園路や公園の出入口として必要な施設を設けます。

### 拠点ゾーン



- 平城宮跡の正面玄関として、平城宮跡全体のガイダンスや資料展示を行う施設、利用案内サービス提供の拠点となる施設等を集約的に設けます。

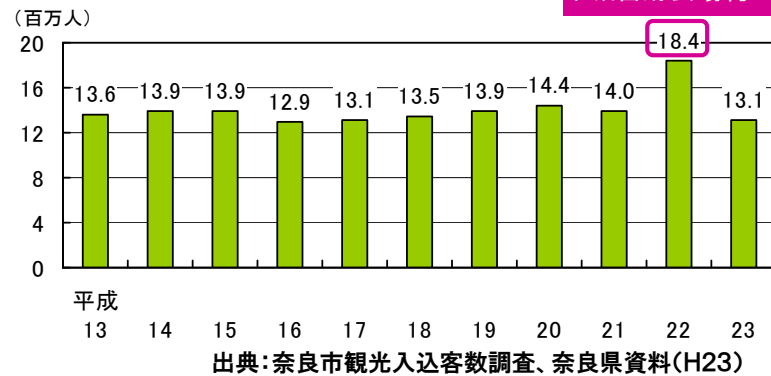
## 2. 事業の必要性等に関する視点



### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化【平城宮跡区域】

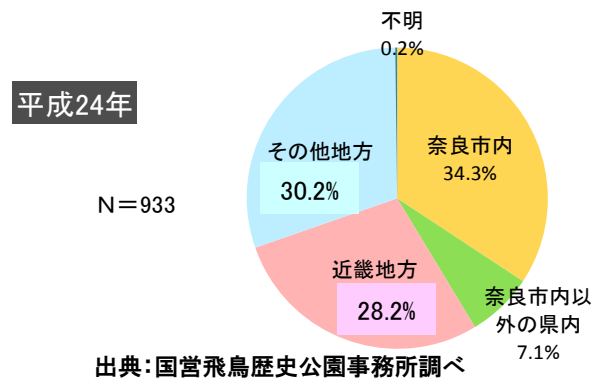
- 平城遷都1300年記念事業の際には、全国から多くの観光客が平城宮跡を訪問。
- 現在、平城宮跡の来訪者は、第一次大極殿正殿等の**史跡見学や風景を楽しむことが主な目的**。

#### 奈良市の観光入込客数推移

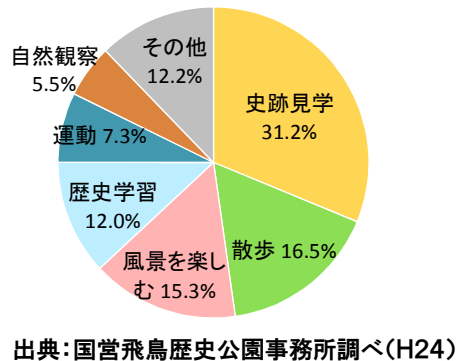


平城遷都1300年祭  
平城宮跡会場約363万人が来場

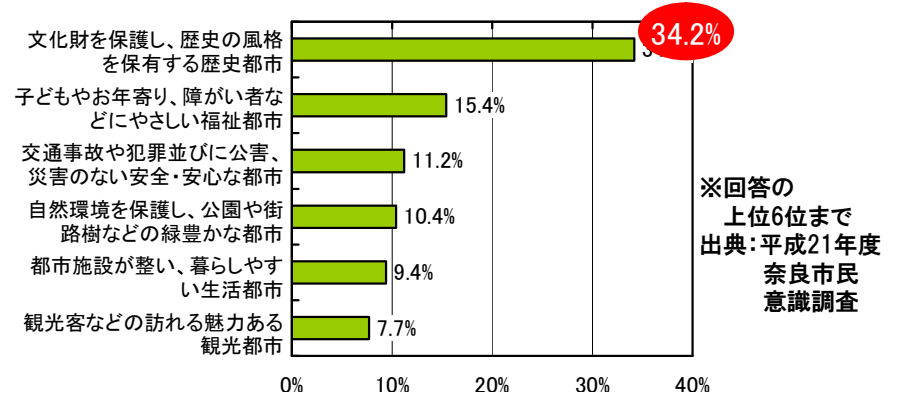
#### 平城宮跡利用者の居住地



#### 平城宮跡に訪れる利用者の主な目的



#### 奈良市民が望む奈良市の将来像



文化財や歴史の風格を有する歴史都市が高く支持されており、今後も引き続き、地域の**歴史・文化資産**を保存・活用しながら、平城宮跡に向けた**関心、賑わいを高め、維持していくことが重要な課題**。



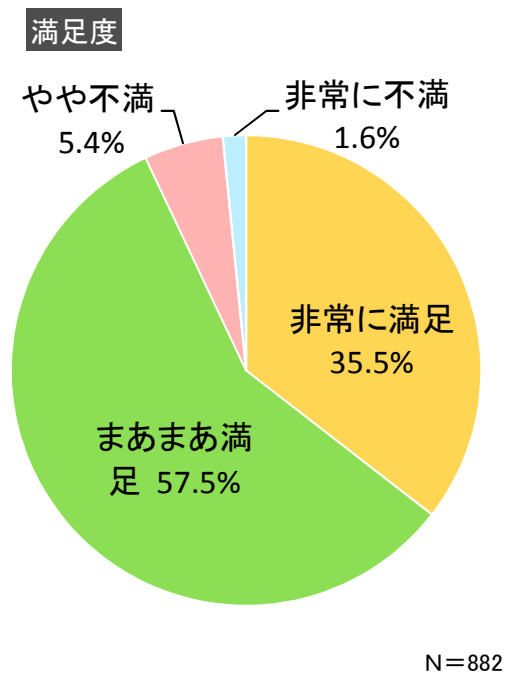
## 2. 事業の必要性等に関する視点

平城宮跡  
区域

### 2) 事業の整備効果【平城宮跡区域】

- 現在の平城宮跡利用者の満足度は高い状況。
- 平城宮跡の貴重な埋蔵文化財を保護し、また市街地の中に残る自然的環境の保全に努めながら **史跡としての価値を向上**させることで、より幅広い層への **平城宮跡の魅力を高めていく**ことが期待。

#### 平城宮跡利用者の満足度



出典：H24年度 国営飛鳥歴史公園事務所調べ

#### 平城宮跡の魅力の向上にむけて



平城宮跡の広がりや往時の雰囲気を感じられる空間整備



楽しみながら平城宮跡について学習できる展示施設を整備

## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 3) 事業の投資効果【飛鳥区域・平城宮跡区域】

#### ■算出条件

基準年 : 平成25年度

評価期間 : 50年間(H28~H77)

社会的割引率 : 4%

適用した費用便益分析マニュアル: 大規模公園費用対効果分析手法マニュアル 改訂第3版(平成25年)

#### 事業全体

全体事業費: 926億円

		3,794億円
便益(B): 基準年における現在価値化	直接利用価値	3,338億円
	間接利用価値	456億円
費用(C): 基準年における現在価値化		2,378億円
費用便益費(B/C)		1.6

### 3. 事業進捗の見込みの視点

飛鳥区域

#### 【飛鳥区域】

- これまで、祝戸、石舞台、甘櫛丘及び高松塚周辺の4地区を概成開園。
- キトラ古墳周辺地区について用地買収を概ね完了し、造成工事後、体験学習館等の建築工事や造園工事等による施設整備を今後行う予定。
- 引き続き事業を推進し、平成28年度の供用開始を目指す。

キトラ古墳周辺地区	
計画面積	13.8ha
用地	95.5%取得
工事	未開園

概成4地区	
計画面積	46.1ha
用地	全て取得済み(100%)
工事	46.1ha開園中



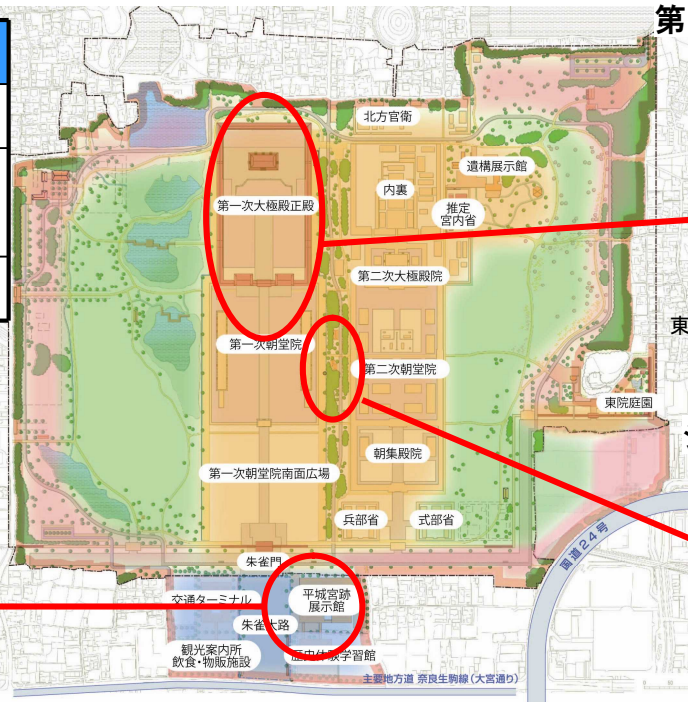
# 3. 事業進捗の見込みの視点



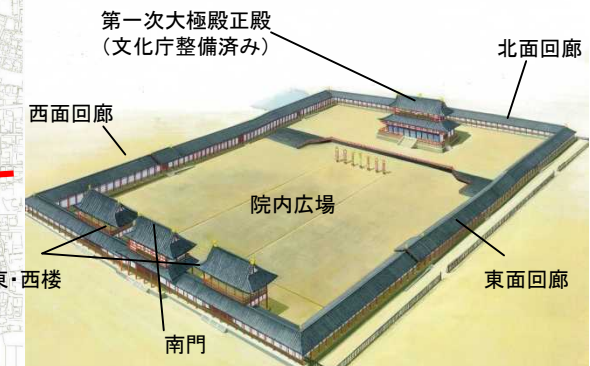
## 【平城宮跡区域】

- **第一次大極殿院については、十分な発掘調査・研究成果を基に検討委員会での議論を踏まえた上で整備に着手し、利用の拠点となる拠点ゾーンについては隣接する奈良県区域とも連携して整備。**
- **公園整備に伴い、地下の木簡等に対する影響を懸念する声の一部市民より出ているが、貴重な歴史・文化遺産として確実に保存することを前提に、本公園が担うべき機能を発揮できるよう整備。**
- **引き続き事業を推進し、早期の国営公園としての供用を目指す。**

平城宮跡区域	
計画面積	122.0ha
用地	97.1% (文化庁取得地含む)
工事	未開園



第一次大極殿院の整備イメージ



拠点ゾーン(平城宮跡展示館)整備イメージ



シンボルゾーン便益施設整備イメージ



## 4. コスト縮減の可能性の視点

■各施設の計画・設計、施工のそれぞれの段階において、材料や工法の見直し等を行いコスト縮減に努める。

### 取組の事例

#### ○調整池の形式変更

調整池を地下貯留式から表面貯留式に変更



従来工法(地下空隙貯留式調整池)



新技術(表面貯留式調整池)

#### ○維持管理の取組

植栽管理の最適化によるコスト縮減、  
市民参加による維持管理の取組推進、等



市民参加による飛鳥の森づくり作業

## 5. 対応方針(原案)

### 1. 事業の必要性に関する視点

- 飛鳥区域について、飛鳥地方の文化的資産の保存と活用を図る本事業の目的があることに加え、今後も引き続き、明日香村の活力維持につながるよう観光・交流拠点としての取り組みが必要。
- 平城宮跡区域について、平城宮跡の保存と活用を図る本事業の目的があることに加え、平城遷都1300年事業後も引き続き、平城宮跡に向けた関心、賑わいを高め、維持する取り組みが必要。
- 費用便益費  $B/C(1.6)$ 。

### 2. 事業進捗の見込みの視点

- 飛鳥区域では、平成28年度開園目標に向けてキトラ古墳周辺地区の施設整備を計画的に実施。
- 平城宮跡区域では、第一次大極殿院における建造物の復原整備、拠点ゾーンの施設整備を計画的に実施。

### 3. コスト縮減の可能性の視点

- 施設の計画・設計、施工の各段階での検討、実施を通じ、ライフサイクルコストの縮減に努める。

以上、国営飛鳥・平城宮跡歴史公園は、事業の必要性に関する視点、事業進捗の見込みの視点、コスト縮減の可能性の視点からみて「継続」が妥当と判断できる。引き続き事業を推進し、早期の開園（効果発揮）を目指すことが適切である。

事業継続



No.14-2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成25年度(第4回)

こく えい あすか      へいじょうきゅうせき      れきし      こうえん  
国営飛鳥・平城宮跡歴史公園

【再評価】

参考資料

平成25年12月  
近畿地方整備局

## 【前回評価時との対比表】

事業名：国営飛鳥・平城宮跡歴史公園

事業化年度：昭和46年度

	前回評価時	今回評価	(主な変更理由)
	平成22年度	平成25年度	
再評価理由	再評価後3年間が経過	再評価後3年間が経過	
事業諸元	(全体) 181.7ha 【飛鳥区域】 59.7ha 【平城宮跡区域】 122.0ha	(全体) 181.9ha 【飛鳥区域】 59.9ha 【平城宮跡区域】 122.0ha	・国営公園予定区域の拡大
事業全体費	1,024億円	926億円	・平城宮跡区域:建物復原整備(第一次大極殿院)の設計検討が進み事業費を見直し
進捗状況	【飛鳥区域】 ・進捗率(事業費) : 82% ・用地取得率(面積) : 99.6% ・既開園(面積) : 46.1ha	【飛鳥区域】 ・進捗率(事業費) : 77% ・用地取得率(面積) : 99.0% ・既開園(面積) : 46.1ha	・国営公園予定区域の拡大
	【平城宮跡区域】 ・進捗率(事業費) : 1% ・用地取得率(面積) : 93.2% ※文化庁取得地分 ・既開園(面積) : 未開園	【平城宮跡区域】 ・進捗率(事業費) : 6.3% ・用地取得率(面積) : 97.1% ※文化庁取得地分を含む ・既開園(面積) : 未開園	・事業の進捗
費用対効果 B/C	2.1	1.6	・競合公園数の増加
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛鳥区域では、H28年度開園目標に向けてキトラ古墳周辺地区の施設整備を計画的に実施。</li> <li>・平城宮跡区域では、築地回廊等の第一次大極殿院における建造物の復原整備、拠点ゾーンの施設整備を計画的に実施。</li> </ul>		



# 感度分析結果

## 【事業全体】

	変動ケース	費用便益費 (B/C)
需要 (全事業)	±10%	1.4～1.8
事業費 (全事業)	±10%	1.5～1.6
事業期間 (全事業)	±10%	1.6～1.6

※感度分析については、改訂第3版大規模公園費用対効果分析手法マニュアルの感度分析の考え方に基づき、都市公園事業の影響要因として考えられる、需要：今後の公園利用者数及び世帯数、事業費の変動、事業期間とし、基本ケース値の±10%を変動幅とした。

# 「共通-様式1」 検証対象公園

都道府市区町村名	奈良県高市郡明日香村
部署名	国土交通省近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所
担当者名	

公園名		国営飛鳥・平城宮跡歴史公園		
住所		(飛鳥区域) 奈良県高市郡明日香村大字平田538 (平城宮跡区域) 奈良県奈良市佐紀町239-3		
供用(予定)年度	部分供用	(飛鳥区域) 平成28年度 (平城宮跡区域) 平成29年度		
	全体供用	平成52年度		
種別		都市公園法第2条 口号国営公園		
施設魅力値	区分	部分供用開始時 (平成28年度)	部分供用開始時 (平成29年度)	全体供用時 (平成52年度)
	自然・空間系	182,375	292,625	1,115,625
	施設系	0	0	0
	文化活動系	8,124	52,030	126,373
緑地面積(ha)		62.0	62.7	75.7
広場面積(ha)		5.3	18.9	75.4
防災拠点機能の有無		有	有	有
事業費 (百万円)	用地費	82,546		
	施設費	119,361		
	合計	201,907		
維持管理費※ (百万円/年)		317	490	1,010

※割引の前の値を記載

# 「共通-様式6」 便益・費用と 費用便益比の計算

便益 [百万円]	現在価格 便益額				割引率	現在価値 便益額			
	利用	環境	防災	合計		利用	環境	防災	合計
	A	B	C	D		E	F=A+E	G=B+E	H=C+E
合計	822,222	37,501	78,280	938,003		333,762	14,820	30,777	379,358
~H24年(H25換算)					1.000				
H24					1.000				
H25	2013				0.962				
H26	2014				0.925				
H27	2015								
H28	2016	9,691	381	473	10,545	0.889	8,615	339	420
H29	2017	18,344	769	1,627	20,740	0.855	15,681	658	1,391
H30	2018	18,277	770	1,626	20,673	0.822	15,022	632	1,336
H31	2019	18,210	770	1,625	20,605	0.790	14,392	608	1,284
H32	2020	18,143	770	1,624	20,537	0.760	13,787	585	1,234
H33	2021	18,076	770	1,623	20,469	0.731	13,208	563	1,186
H34	2022	18,009	770	1,622	20,401	0.703	12,653	541	1,140
H35	2023	17,942	770	1,621	20,333	0.676	12,121	520	1,095
H36	2024	17,875	770	1,620	20,266	0.650	11,611	500	1,052
H37	2025	17,808	770	1,619	20,198	0.625	11,123	481	1,011
H38	2026	17,741	771	1,618	20,130	0.601	10,655	463	972
H39	2027	17,674	771	1,617	20,062	0.577	10,207	445	934
H40	2028	17,607	771	1,616	19,994	0.555	9,777	428	897
H41	2029	17,541	771	1,615	19,926	0.534	9,365	412	862
H42	2030	17,474	771	1,614	19,859	0.513	8,970	396	829
H43	2031	17,407	771	1,613	19,791	0.494	8,592	381	796
H44	2032	17,340	771	1,612	19,723	0.475	8,230	366	765
H45	2033	17,273	771	1,611	19,655	0.456	7,883	352	735
H46	2034	17,206	772	1,610	19,587	0.439	7,550	339	707
H47	2035	17,139	772	1,609	19,519	0.422	7,232	326	679
H48	2036	17,072	772	1,608	19,452	0.406	6,926	313	652
H49	2037	17,005	772	1,607	19,384	0.390	6,634	301	627
H50	2038	16,938	772	1,606	19,316	0.375	6,354	290	602
H51	2039	16,871	772	1,605	19,248	0.361	6,085	279	578
H52	2040	16,804	772	1,604	19,180	0.347	5,828	268	556
H53	2041	16,692	769	1,597	19,059	0.333	5,566	256	533
H54	2042	16,580	766	1,591	18,937	0.321	5,316	246	510
H55	2043	16,468	762	1,584	18,815	0.308	5,078	235	488
H56	2044	16,357	759	1,578	18,694	0.296	4,849	225	468
H57	2045	16,245	756	1,571	18,572	0.285	4,631	215	448
H58	2046	16,133	752	1,565	18,450	0.274	4,422	206	429
H59	2047	16,021	749	1,558	18,328	0.264	4,222	197	411
H60	2048	15,909	746	1,552	18,207	0.253	4,032	189	393
H61	2049	15,797	743	1,545	18,085	0.244	3,849	181	377
H62	2050	15,686	739	1,539	17,963	0.234	3,675	173	360
H63	2051	15,574	736	1,532	17,842	0.225	3,509	166	345
H64	2052	15,462	733	1,526	17,720	0.217	3,349	159	330
H65	2053	15,350	729	1,519	17,598	0.208	3,197	152	316
H66	2054	15,238	726	1,512	17,477	0.200	3,052	145	303
H67	2055	15,126	723	1,506	17,355	0.193	2,913	139	290
H68	2056	15,014	719	1,499	17,233	0.185	2,780	133	278
H69	2057	14,903	716	1,493	17,112	0.178	2,653	128	266
H70	2058	14,791	713	1,486	16,990	0.171	2,532	122	254
H71	2059	14,679	710	1,480	16,868	0.165	2,416	117	244
H72	2060	14,567	706	1,473	16,747	0.158	2,306	112	233
H73	2061	14,455	703	1,467	16,625	0.152	2,200	107	223
H74	2062	14,343	700	1,460	16,503	0.146	2,099	102	214
H75	2063	14,232	696	1,454	16,381	0.141	2,003	98	205
H76	2064	14,120	693	1,447	16,260	0.135	1,910	94	196
H77	2065	14,008	690	1,441	16,138	0.130	1,822	90	187
H78	2066	7,005	386	1,059	8,450	0.125	876	48	132
H79	2067					0.120			

総便益(百万円)	I	379,358
総費用(百万円)	S=P+Q+R	237,792
費用便益費	T=I/S	1.595

費用 [百万円]	現在価格 便益額				割引率	現在価値 便益額			
	用地費	建設費	維持管理費	合計		用地費	建設費	維持管理費	合計
	J	K	L	M		N	O=J*N	P=K*N	Q=L*N
合計	82,546	82,546	119,361	48,636		96,549	86,592	123,618	27,582
~H24年(H25換算)					1.000				
H24					1.000				
H25	2013	1,101	1,101	2,166	202	1,101	1,101	2,166	202
H26	2014	1,077	1,077	4,616	202	0.962	1,036	4,438	194
H27	2015	1,084	1,084	7,523	202	0.925	1,002	6,955	187
H28	2016			8,201	317	0.889		7,291	282
H29	2017	1,340	1,340	4,498	490	0.855	1,145	3,845	419
H30	2018	1,100	1,100	4,981	490	0.822	904	4,094	403
H31	2019	1,000	1,000	4,142	490	0.790	790	3,273	387
H32	2020			4,742	490	0.760		3,604	372
H33	2021	1,800	1,800	4,787	490	0.731	1,315	3,498	358
H34	2022	1,200	1,200	3,342	490	0.703	843	2,348	344
H35	2023	1,140	1,140	3,342	490	0.676	770	2,258	331
H36	2024			2,854	673	0.650		1,854	437
H37	2025			2,642	673	0.625		1,650	420
H38	2026			2,642	673	0.601		1,587	404
H39	2027			2,642	673	0.577		1,526	389
H40	2028			2,642	673	0.555		1,467	374
H41	2029			2,642	673	0.534		1,411	359
H42	2030			2,642	673	0.513		1,356	346
H43	2031			2,642	673	0.494		1,304	332
H44	2032			1,981	673	0.475		940	319
H45	2033			142	673	0.456		65	307
H46	2034			142	673	0.439		62	295
H47	2035			142	673	0.422		60	284
H48	2036			142	673	0.406		58	273
H49	2037			142	673	0.390		55	263
H50	2038			142	673	0.375		53	252
H51	2039			142	673	0.361		51	243
H52	2040			142	1,010	0.347		49	350
H53	2041				1,010	0.333			337
H54	2042				1,010	0.321			324
H55	2043				1,010	0.308			311
H56	2044				1,010	0.296			299
H57	2045				1,010	0.285			288
H58	2046				1,010	0.274			277
H59	2047				1,010	0.264			266
H60	2048				1,010	0.253			256
H61	2049				1,010	0.244			246
H62	2050				1,010	0.234			237
H63	2051				1,010	0.225			228
H64	2052				1,010	0.217			219
H65	2053				1,010	0.208			210
H66	2054				1,010	0.200			202
H67	2055				1,010	0.193			195
H68	2056				1,010	0.185			187
H69	2057				1,010	0.178			180
H70	2058				1,010	0.171			173
H71	2059				1,010	0.165			166
H72	2060				1,010	0.158			160
H73	2061				1,010	0.152			154
H74	2062				1,010	0.146			148
H75	2063				1,010	0.141			142
H76	2064				1,010	0.135			137
H77	2065				1,010	0.130			131
H78	2066				693	0.125			87
H79	2067	82,546				0.120		9,958	